

【本件リリース先】

平成 29 年 4 月 14 日(金)15:00

(資料配付)

文部科学記者会、科学記者会、
原子力規制庁記者会(仮称)、
福島県政記者クラブ、
いわき記者会、いわき記者クラブ



平成 29 年 4 月 14 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

**廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟の
開所式の開催について
(取材案内)**

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(理事長 児玉敏雄)は、東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所の廃炉に向けた研究開発及び人材育成に取り組む中核拠点として、福島県双葉郡富岡町に「廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟」の建設を進めてきました。

今般、同棟が完成し、運用を開始するに当たりまして、下記のとおり、開所式を開催いたします。

記

1. 日 時 : 平成 29 年 4 月 23 日(日) 13 時 30 分より
2. 場 所 : 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 790 番 1
3. 内 容 : 開所式 : 13:30~14:05
内 覧 : 14:05~14:30
開所式記念講演会 : 14:45~15:45
4. 出席者: 文部科学省、復興庁、福島県、富岡町 他
5. 集合時間及び場所:別添案内図参照
13 時 00 分までに会場に御参集してください。
6. その他 :

開所式終了後、国際共同研究棟の内覧及び隣接の富岡町文化交流センター「学びの森」において開所式記念講演会を開催いたします。開所式及び内覧並びに開所式記念講演会の取材を希望される方は、お手数ですが別紙取材申込書にて 4 月 21 日(金)15 時までに FAX で御連絡願います。(送付先 FAX 番号 0246-24-4031)

【本件に関する問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門福島研究開発拠点

(施設に関する内容について)

廃炉国際共同研究センター(CLADS)国際共同研究棟運営管理室

若井田 TEL 0240-21-3530

(取材等について)

福島事業管理部 総務課 益子 TEL0246-35-7650 FAX0246-24-4031

【案内図】

○住所

福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 790 番 1

※会場では、現地誘導員の指示に従って駐車願います。

○いわき駅からタクシーで、約 1 時間 15 分

(常磐自動車道いわき四倉 IC～常磐富岡 IC 利用で、約 1 時間)

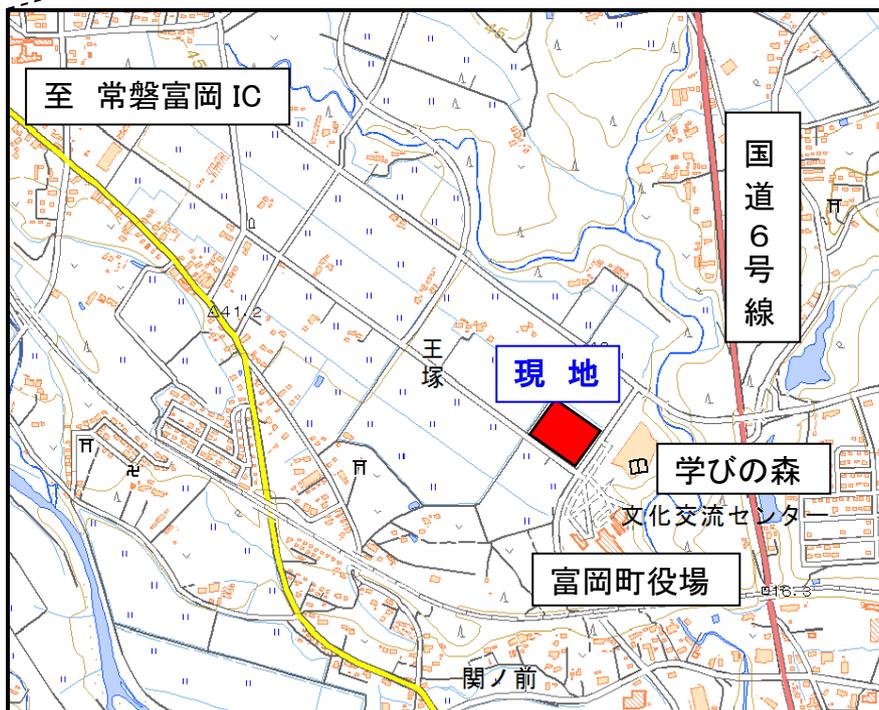
○JR 常磐線 竜田駅より車で、約 20 分 9 km

○常磐自動車道 常磐富岡 IC より約 10 分 5 km

【周辺案内図】



【現地案内図】



平成 29 年 4 月 日

廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟の開所式

＜取材申込書＞

送付先:

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門 福島研究開発拠点 福島事業管理部 行

(FAX 0246-24-4031)

御社名

(連絡先電話番号)

取材者氏名

所属	氏名	取材箇所
		・開所式 ・内覧 ・開所式記念講演会
		・開所式 ・内覧 ・開所式記念講演会
		・開所式 ・内覧 ・開所式記念講演会

(1) 希望される取材箇所に○を付けてください。

(2) 本取材申込書を、4月21日(金)15時までにFAXで御連絡願います。

(参考時間)

○ 開所式 : 13:30~14:05

○ 内覧 : 14:05~14:30

○ 開所式記念講演会 : 14:45~15:45



廃炉国際共同研究センターの概要

～国内外の英知を結集する拠点～

廃炉国際共同研究センターの中核となる国際的な研究開発拠点「国際共同研究棟」を東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所（1F）近傍に整備し、国内外の大学、研究機関、産業界等の人材が交流できるネットワークを形成しつつ、産学官による研究開発と人材育成を一体的に進める体制を構築して、廃止措置を推進します。

JAEA 福島研究開発部門

楢葉遠隔技術開発センター

-遠隔操作機器開発・施設利用等-
(平成28年4月本格運用開始)



福島県楢葉町

活用



廃炉国際共同研究センター

-国内外の英知を結集する拠点-
国際共同研究棟

(平成29年4月運用開始)



福島県富岡町

(茨城県の東海・大洗地区におけるJAEA特有の核燃料・放射性物質の使用施設、照射施設等の活用)

活用

大熊分析・研究センター

-放射性核種分析等-
(平成30年3月施設管理棟運用開始予定)



福島県大熊町（1F敷地隣接）

成果の適用

福島環境安全センター

環境動態・放射線モニタリング等の研究開発

『オフサイトからオンサイトへ』



CLADS : Collaborative Laboratories for Advanced Decommissioning Science



産学官との連携・協力

【東京電力ホールディングス・IRID・NDF】

東京電力ホールディングス、国際廃炉研究開発機構IRID、原子力損害賠償・廃炉等支援機構NDFとの連携、協力

【国内外の大学・研究機関・産業界】

東京大学、東北大学、東京工業大学等との連携講座、国際機関、米仏英国研究所等、民間企業等との共同研究、情報交換

【福島県、環境省】

福島県環境創造センター、福島県ハイテクプラザとの連携、協力

廃炉国際共同研究センターでの具体的な取組

(I) 国内外の英知を結集する場の整備

福島研究開発部門 福島研究開発拠点

廃炉国際共同研究センター

研究推進室

国際共同研究棟運営管理室

廃棄物処理処分ディビジョン

燃料デブリ取扱・分析ディビジョン

事故進展挙動評価ディビジョン

遠隔技術ディビジョン

※現在はJAEAの既存施設等を活用して研究開発を実施

(II) 国内外の廃炉研究の強化

- 海外からの研究者の招聘
- 海外の研究機関等との共同研究
- 廃炉に必要な研究分野について、外部の研究者、専門家を含めたWGを形成し活動



廃炉に向けたワークショップを開催

(III) 中長期的な人材育成機能の強化

- 文部科学省「廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム」等での採択機関とともに、連携講座を開設し、異分野分析技術の統合、人材育成に取り組む



- 多様な人材を集めるためにクロスアポイントメント制度等を導入

(IV) 情報発信機能の整備

- 国立国会図書館と連携し、国、東京電力、が発信する情報をIAEAの原子力事故情報分類に従って整理し、「JAEAアーカイブ（福島原子力事故関連情報アーカイブ）」として発信
- JAEAの研究成果を含む文献情報を発信





国際共同研究棟



開所式記念講演会

日時：2017年4月23日（日）14：45～15：45

会場：富岡町文化交流センター「学びの森」
大ホール

参加：無料



国際共同研究棟

プログラム

開会挨拶 日本原子力研究開発機構 理事長

児玉 敏雄

ご挨拶 富岡町長

宮本 皓一 氏

講演

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長

山名 元 氏

国立大学法人 大阪大学 理事・副学長

山中 伸介 氏

米国サバンナリバー国立研究所 環境回復技術部長

ケビン コステルニク
Kevin Kostelnik 氏

（日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センター副センター長）

事業説明 日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センター長 小川 徹

内覧会 閉会后、ご希望の方に国際共同研究棟の内覧会を開催します



富岡町文化交流センター「学びの森」

【会場】

富岡町文化交流センター「学びの森」大ホール
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1

【問い合わせ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 福島研究開発拠点
福島事業管理部 総務課

電話 0246 (35) 7650

講演者のご紹介



山名 元氏

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長

1981年東北大学工学研究科博士後期課程原子核工学専攻修了

工学博士 元京都大学原子炉実験所教授

専門はアクチニド化学、核燃料サイクル工学

1F廃炉に向けた戦略策定と技術的支援の統括者



山中 伸介氏

国立大学法人 大阪大学 理事・副学長

1981年大阪大学大学院工学研究科原子力工学専攻

博士前期課程修了 工学博士

専門は核燃料工学、エネルギー材料工学

化合物半導体について世界トップクラスの性能の材料を開発



ケビン コステルニク

Kevin Kostelnik 氏

米国サバンナリバー国立研究所 環境回復技術部長

環境コンプライアンス マネージャー

戦略計画グループ プロジェクト・リーダー

ヴァンダービルト大学博士（環境管理）

環境及びエネルギー分野における革新的リーダー

※ご希望の方に音声通訳ガイドをご用意します

富岡町文化交流センター学びの森 案内図



【お車でお越しの方】

常磐自動車道 常磐富岡 IC より約 10 分

※無料駐車場がございます

【電車でお越しの方】

・富岡駅より富岡町内循環バス乗車
「富岡町役場」下車徒歩 5 分

・竜田駅よりタクシー 20 分
(14:13 竜田駅着の JR に合わせ、
バスを配車致します。)

参考：10：53 東京駅発（特急ひたち 9 号）

13：15 いわき駅着（乗換）

13：42 いわき駅発

14：13 竜田駅着